

令和6年度自己評価結果公表シート

学校法人ひじり学園

幼保連携型認定こども園 せんりひじり幼稚園・ひじりにじいる保育園

1. 本園の教育目標

園児一人一人の存在そのものを尊重し、個性を大切にする教育により自己肯定感を育てると共に、人と関わる良さ、自然と関わる良さを十分に経験し、意欲的に力強く生きる力を育てる。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

1. 0～5歳児の育ちのつながりを大切にする

- 乳児と幼児が自然に関わり合えるような保育の在り方を考え、日々の保育の中で交流を大切にする。
- 各年齢における発達の理解を深め、0～5歳児の育ちの連続性を見通す力を職員研修等を通して養う。
- 乳児と幼児が同じ施設で過ごすことの意味を捉え直し、よりよい環境となるよう見直しを図る。

2. 保護者とのつながりを深める

- 子どもの育ちや園での様子を、よりわかりやすく丁寧に伝える方法を整理し、工夫を重ねる。
- SNS等による情報発信については、前年度に取り組んだ成果を活かしながら継続し、発信力を高めていく。
- 活動や行事のねらいや意図を明確に示し、保護者に学園の教育・保育の姿勢を伝えていく。

3. 子どもも大人も真ん中にある「共主体の保育」を目指す

- 子どもも保育者も自分らしく過ごせるような保育を心がける。
- 「共に育ち合う」という視点から、保育や行事の在り方を見直し、双方向の関係性を重視する。
- 子どもの育ちに応じて、保育内容や行事に向けた取り組みを柔軟に見直し、より豊かな経験につなげていく。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
1. 0～5 歳児の育ちのつながりを大切に する	<p>・乳児と幼児が自然に関わり合えるように、保育の中で様々な交流を図った。3 学期には、2 歳児クラスの子どもたちが、ひよこ組や預かり保育の部屋で過ごすなど、3. 4. 5 歳児との交流を図った。また、園庭で乳児が安心して過ごせるように、移動式ラティスを使って遊びのエリアを囲むなどの工夫をし、自然な交流と共に安心して過ごせる環境となった。</p> <p>・合同職員研修にて、各年齢における発達の理解を深め、0～5 歳児の育ちの連続性を見通す力につなげた。</p>
2. 保護者とのつながりを深める	<p>・子どもの育ちや園での様子を、細目にキッズリー配信システムで写真を配信し、園での子どもたちの様子をわかりやすく伝えた。</p> <p>・昨年にひきつづき、インスタグラムで毎日園でのトピックスを配信し、HP ブログでは、説明を加えて配信することで、園での様子や取り組みをこまめに丁寧に伝えることができ、保護者からは好評を得た。</p> <p>・園長副園長通信によって、活動や行事のねらいや意図を保護者に発信し、保護者に学園の教育・保育の姿勢を伝えていくことができた。</p>
3. 子どもも大人も真ん中にある「共主体の保育」を目指す	<p>子どもも保育者も自分らしく過ごせるような保育を心がけ、「共に育ち合う」という視点から、保育や行事の在り方を見直し、変えることができた。子どもの育ちに応じて、保育内容や行事に向けた取り組みを柔軟に見直し、より豊かな経験につなげていくことができた。</p>

4: 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
1. 行事の時期や内容の見直し	<p>・温暖化の影響を考慮し、夏季の屋外活動が困難な時期には屋内で実施可能な活動・保育や行事を導入。</p> <p>・運動会の時期を 10 月末に変更。11 月末に実施していた「つくろうデイ」を 9 月に移動し、内容も変更。併せて、名称を「アートフェスタ」に変更。</p>

2. 屋外環境の充実と整備	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳から就学前の子どもたちが日常的に利用する屋外環境について、乳児と幼児担当者が協力し次の取り組みを進める。 ・屋外での子どもの遊びや成長の特徴を分析し、環境や遊具の在り方を検討。・各年齢の成長に応じた遊びの場や遊具を見直し、環境整備を実施する。 ・子どもがより充実した遊びを経験できる環境を整備する。
3. 地域子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までモデル事業だった「誰でも通園制度」を試行予定。2歳児を対象とした週1回1クラス定員10名の「つくし組」を3クラス開設し、子どもの発達及び子育て家庭を支援する。 ・0～2歳児の親子教室および園庭開放を週1回実施し、地域の子育て家庭が交流できる場の提供。地域における子育て支援の充実を図る。
4. 特別支援保育の充実	<p>特別支援児の増加に対応するため、以下の取り組みを強化する。一人ひとりの子どもを深く理解するため情報を共有。振り返り会議や研修等で支援の在り方を検討する。インカムを活用し、支援担当者と職員がリアルタイムで連携をとりながら、園全体で支援児の育ちを支える。家庭や市の担当者や療育施設等と密に連携し、多様な保育や支援の在り方を模索する。</p>

5: 学校関係者の評価

年度末保護者アンケートの結果より、せんりひじり幼稚園の教育について「よかった」「とてもよかった」の回答が100%になり、高い評価を得たことは、保護者の皆様のご協力のご理解によるものであり、日々の保育や子どもの育ちを支えてくださったことにあらためて感謝したい。

回答コメントより以下抜粋。

【1】教育・保育について

- **主体性・自己肯定感が育つ**
→ 子どもが「自分で考え行動できる」「やりたいことをとことん追求できる」など、のびのびとした成長が多くみられた。
- **先生方の丁寧な関わり**
→ 個々の気持ちを尊重し、否定せず受け止める姿勢。担任だけでなく全職員で子どもを温かく見守る姿勢が信頼できる。
- **保護者との連携が密**
→ 懇談会・配信ツールなどを通じて園での子どもの様子や方針が伝わり、安心感が高い。
- **子どもが幼稚園を大好きに**
→ 行き渋りが少なく、園生活を楽しんでいる様子の意見が多くみられた。

【2】環境について

- 多様で飽きない遊び環境
→ 工作・図書コーナー・自然ふれあい・テーマ装飾など、常に新しい発見がある。
 - 自然・生き物との関わりが豊か
→ 野菜収穫、虫観察などの体験を通じて五感を育む保育が好評。
 - 挑戦と達成感を育てる場
→ 森探検、クーゲルバーンなどのチャレンジが自発性・協調性を伸ばしている。
 - 蚊の対策や外遊び設備の安全対策など、自然環境ならではの衛生・安全面の更なる配慮。
-

【3】行事について

- 親子で楽しめる内容と構成
→ 行事が日々の保育と自然につながっており、子どもが緊張せず挑戦できる。
 - 成長と主体性を感じられる
→ 運動会や発表会など、練習から本番までの子どもの変化が感動を呼んでいる。
 - 分散開催や役割分担の工夫
→ 親も見やすく、無理なく参加できるとの声。
 - 平日開催や天候対応など、スケジュール調整・会場面での負担軽減。
-

【4】PTA 活動について

- 参加しやすい仕組み
→ 一日完結型が多く、妊娠中・未就学児家庭も安心。
 - 保護者間の交流促進
→ 学年を超えたつながりで親同士の輪が広がった。
 - 学びの機会も好評
→ 講演会など自己肯定感や教育意識を深める場としても機能。
 - 役割の負担差や選びやすさ、案内方法の明確化。
-

【5】給食について

- 美味しく栄養バランス◎ → 苦手食材を克服できた子も多い。
- 給食当番が親子交流に → 普段の様子が見られて好評。

- レシピ共有が家庭でも役立つ
 - 衛生面の更なる配慮、当番制度の柔軟性。
-

【6】送迎について

- 体力・社会性の育成
→ 徒歩送迎を通じて体力向上と異年齢交流が自然に。
 - 安心できる見守り体制
→ 雨の日も先生方の対応に感謝の声多数。
 - 距離・暑さ対策、送迎ボランティアの人数確保。
-

✦【総括】

- 子どもの主体性と成長を実感できる園として、保護者から深い信頼と感謝の声が多く寄せられた。
- 保育方針が日々の関わりでしっかり体现され、家庭での会話や成長の喜びにつながっている。
- 一方で、安全面・負担感の軽減・情報整理などの具体的な改善要望もあり、引き続き保護者との対話をもとに検討していきたい。

7、財務状況

公認会計士による年間4回の監査において、園児募集が順調であり、耐震化に伴う大規模改修、建て替え工事のための借入金も順調に返済が進む等、財務状況は大変良好であるとの指摘を受けている。